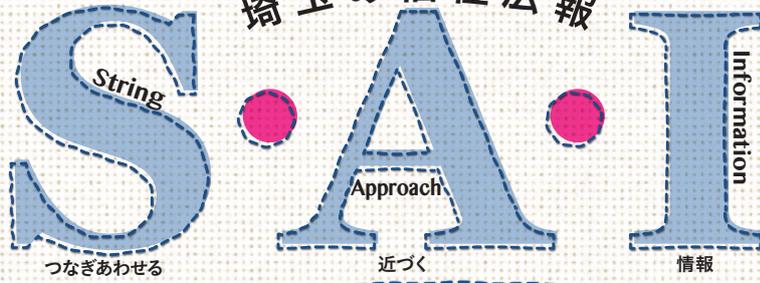


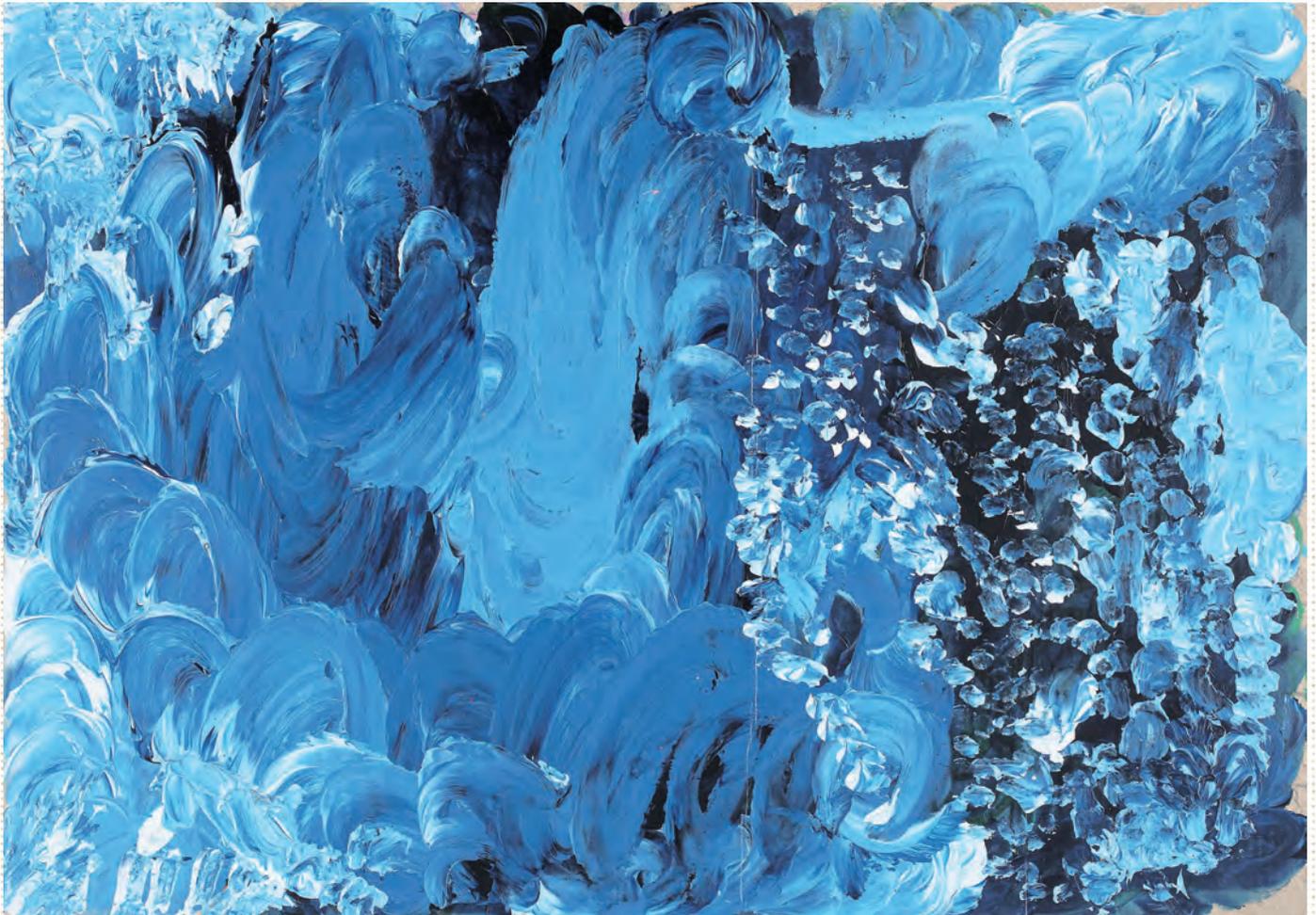
埼玉の福祉広報



2月1日は
フレイルの日です!



つながりをチカラに



作品名 「無題」 作者 柳 万喜子さん (埼玉県社会福祉事業団あげお所属)

濃い青、水色、そして白が目飛び込んでくる。その下には、黄色のマーカーや赤色のボールペンで描かれた、いくつもの「丸」がある。これらの丸い形を基本にして、絵画全体に、絵の具を指で伸ばしながら塗り重ね、色鮮やかで、丸みを帯びた動きのある作品に仕上げていく。柳さんが丸を描くのは、心の安定を示しているという。重ね塗りされている青色の絵の具は、指先と指の腹を使い分けて、力強く描かれており、作品全体にダイナミックなイメージを与えている。

巻頭インタビュー

「世界一やさしいチョコレート」
でつくる“つながり”
～患者と周囲の人が同じ喜びを分かち合う～
株式会社 SpinLife 代表

中村 恒星 さん



全体のレビューは
こちら



埼玉県障害者アート
オンライン美術館

「世界一やさしいチョコレート」

でつくる「つながらり」

「患者と周囲の人が

同じ喜びを分かち合う」

学生時代に起業し、世界一やさしいチョコレート「andew（アンジュ）」を開発した医師の中村恒星さん。食べることに困難を抱える難病患者と周囲の人が一緒に「おいしいね」と分かち合えることを目指しました。医師と起業家の二刀流で活躍する中村さんに起業のきっかけやこれからの思いを伺いました。

andewを開発されたきっかけを教えてください。

私は当時薬学部の学生だったのですが、もっと臨床的なことに関わりたいたいと思い、北海道大学医学部2年に編入しました。しかし「卒業するまであと5年もあるので、医学の勉強だけでなく、他にも有効に使いたい」と考えました。

そんな中「表皮水疱症」という難病があることを知ったのです。生まれつき皮膚と皮膚をつなぐタンパク質が欠損しているため、皮膚が地滑りのようにめくれてしまう病気です。大学の皮膚科の先生からこの病気について説明を受ける中で、「患者さんと会ってみたら」と患者会を紹介していただきました。

患者さんとの交流を通じて、生活の困りごとや医療に対する不安などをいろいろと伺うことができました。服を着たりシャンプーをしたりする際にも痛みを感じる方がいるなかで、食べることに困難を抱えている方が多いことも知りました。「ポテトチップスを食べると、針の付いた板を食べているくらい痛い」と話す方もいます。特に成長期の子どもにとって限られたものしか食べられないことは、心身の成長にマイナスの影響を与えます。

そこで「患者さんのために食えることを支援しよう」と、私のなかで小さなプロジェクトが始まりました。

株式会社 SpinLife 代表
医師

なかむら こうせい
中村 恒星さん



1995年岐阜県生まれ。富山大学薬学部から北海道大学医学部医学科に学士編入。2020年1月北海道札幌市に株式会社 SpinLife を創業。同年5月に世界一やさしいチョコレート「andew」の販売を開始。創業から累計で1万枚以上を売り上げ。「andew」を通して「患者と周囲の人々が病気と共存し、理解し合い、手を取り合う世界」の実現を目指している。



たくさんのお菓子があふれ、なぜチョココレクトに決めたのですか。

スーパーや菓子店を回って「何がいいかな」と探しているとき、チョココレクトはナッツ類や果物などさまざまな食材を混ぜ込むことができるうえに、日持ちすることにも気づきました。

また、バレンタインデーに象徴されるように、「好き」や「ありがとう」といった気持ちを乗せることができる贈り物というイメージが根付いています。病気で疎外感や孤独感を感じている方の心を癒すツールとなり得ると直感しました。

患者さん専用ではなく、広く一般の方に向けたお菓子として開発されたのはなぜですか。

試作品ができたとき、表皮水疱症の患者さんのもとに意気込んで持っていったところ「患者のために作らないでほしい」と言われてしまい、意味が分からず茫然としてしまいました。「かわいそうな人が食べるお菓子を作ってもらってもうれしくない」ということだったので。一般の人が「食べたい」と思うお菓子であり、実は患者さん向けだったというものでなければ、患者さんの疎外感は解消されないことに気づきました。それは私にとって大きな発見でした。

andewは、一般のチョココレクトのようにパキッと折れる硬さはなく、やわらかく、口溶けが滑らかで飲み込みやすい。その上アーモンドやココナッツ、きなこ、昆布など栄養価の高い食材が数多く入っていて、がん患者さんや高齢のために食が細くなった方などにも喜ばれています。

andewはand youが由来で、みんなと一緒に食べる喜びを感じてほしいという思いを込めています。



栄養があっておいしいチョココレクトを目指し、何度も試行錯誤したという商品開発中の様子

医師として起業家として第一線で活躍されているが、その原動力や今後の展開を教えてください。

私は生後間もなく心臓の難病を患いましたが、手術がうまくいったのでこうして今も生きています。しかし医学が発達していなければ助からなかったと思いますし、高齢になったときにどうなるかは、現在の医学でも分かりません。そこでこの命は無駄にできないという思いがあります。

表皮水疱症の患者さんの中には学校に行けなかったり、好きな仕事に就けなかったりしている方で、「このチョココレクトが支えになってくれる」「元気が出た」という声をいただくことが、これからはサポートをしていきたいという思いにつながっています。

また、andewを介して一般の方に難病のことや食べることに困難を抱えていることもありますが、発信することができています。

医師として、研究者として医療の現場で感じた疑問や課題について、医療からこぼれてしまうことは、こうした事業のなかで取り組んでいきたいと考えています。また、これからも医療という分野からandewのような試みとともに歩んでくださる方を増やしていきたいです。

最後に福祉関係者に向けてメッセージをお願いします。

私の場合は学生時代に患者会を紹介してもらったことが、起業につながりました。福祉関係者の皆さんには、若い人たちのために、現場を体験できる機会をたくさん作ってほしいと思います。

例えば小学生が福祉施設で体験学習したとしても、すぐに福祉への興味にはつながらないかもしれません。しかし、10年後に「あのときの職員さんは輝いていたな」と思い出し、福祉職を目指す若者が出てくるはずですよ。

過去と現在がつながって、ひとりの若者の未来が拓く。そんな魅力ある福祉の現場をつくっていただきたいと思います。

さまざまな団体の
キラリとした活動を紹介

福祉人材の裾野を広げるために

小学生に向けた啓発活動を展開

しょうがいふくしのタネ

(埼玉県発達障害福祉協会 人材確保プロジェクト)

知的障害の方を支援している県内の福祉施設が協働して、小学校で啓発活動を実施しています。こどもたちが知的障害の方(以下、当事者と交流しながら福祉の仕事を知り、福祉について考えるきっかけとなっています。

昨年12月、深谷市内の小学校で、総合的な学習の時間に障害福祉を学ぶプログラムが

行われました。対象は小学4年生52人。主催は埼玉県発達障害福祉協会の人材確保プロジェクト「しょうがいふくしのタネ」です。

そして「私たちの仕事は障害者の方ができないことをお手伝いして助けること」だと児童に伝えます。最後に当事者の吉田哲也さんが登場し、仕事のことや得意なこと、苦手なことを話しました。そして一番得意なことが「おおきななな」の絵本の朗読だと伝え、児童の前で披露しました。かぶを抜くシーンでは、吉田さんと一緒に児童全員が「うんとこしょ、どっこいしょ」と大きな掛け声をかけて、盛り上がりました。

織です。福祉人材不足が深刻化するなかで、人材確保プロジェクト「しょうがいふくしのタネ」を立ち上げました。基本方針として掲げたのは、採用に直接結びつく活動だけでなく、障害福祉を知ってもらう活動や、将来の福祉人材確保につながるような活動を目指すことです。

先生方からも「知的障害者とふれあい、学ぶことができる貴重な機会」という評価を受けています。

ジェクト「しょうがいふくしのタネ」です。メンバー9人でプログラムを練り、講師役も務めます。

プロジェクトリーダーの佐藤義剛さんは「福祉が他人事だったこどもたちに、福祉について考えるきっかけになったと手ごたえを感じています。さらに、自分たちの仕事を見つめ直し、仕事の楽しさを再認識することにつながりました」と振り返ります。

令和6年1月、川口市内の小学校での開催を皮切りに、これまで6回開催しています。いずれも児童の反応が良く、「障害者の人を支える仕事があることを初めて知った」という声も届きました。

今後さらさら県内をプロック分けて、施設がある地域の小学校で活動できる仕組みづくりや、中学生向けのプログラム開発を目指しています。



「しょうがいふくしのタネ」のメンバー。小学生に伝える活動を通して、自分たちの障害福祉への理解も深まり成長することができている

プログラムは「福祉」「障害福祉」「知的障害」「当事者のお話」の4部構成。こども向けに分かりやすく「障害とはどんなにがんばってもできないこと」だと伝えたいことで、環境を変えたり、周囲の人がサポートしたりすることで、障害がなくなることを説明しました。

埼玉県発達障害福祉協会には、知的障害児・者を支援する施設や個人を会員とする組

知的障害者と交流する貴重な機会

先生方からも「知的障害者とふれあい、学ぶことができる貴重な機会」という評価を受けています。

今後さらさら県内をプロック分けて、施設がある地域の小学校で活動できる仕組みづくりや、中学生向けのプログラム開発を目指しています。



当事者の吉田哲也さん(写真右)。児童の前で朗読することをとても楽しみにしていて毎日練習に励んでいる

福祉の魅力・やりがいを言葉にすると?

福祉への想いを聞きました!



Q1 この言葉を選んだ理由を教えてください。

佐藤さん
 私たちは仕事を通して、利用者さんと一緒にお話したり活動したりしていますが、それ自体がとても楽しいと感じています。もちろん深刻な悩みを相談されたり、日々の苦しみを打ち明けられたりすることもありますが、私自身の悩みを利用者さんに相談することもあります。そのようなことも含めてポジティブで楽しいのです。

新井さん
 このような人と人の楽しい関わりが、もっと広がってほしいと考えてこの言葉を選びました。

私たちの施設名が江南愛の家であることも関係していますが、福祉に必要な

なもの「惜しみなく与える愛」「見返りを求めない無償の愛」だと考えています。私は当施設の職員に対して、愛をもって利用者さんに接してほしいと日頃から伝えているのでこの言葉を選びました。

Q2 読者の方にメッセージをお願いします。

佐藤さん&新井さん
 福祉のなかでも障害福祉は高齢福祉や児童福祉よりも身近ではないイメージですが、その障害福祉のなかでも知的障害の分野はさらに知られていないという印象をもっています。しかし読者の皆さんの地域にも知的障害の方は暮らしていますし、その方たちを支援する私たちのような仕事があるということをぜひ知ってほしいと思います。

しょうがいふくしのタネ
 (埼玉県発達障害福祉協会 人材確保プロジェクト)

リーダー 社会福祉法人梨花の里 障害者支援施設梨花の里 施設長	メンバー 社会福祉法人埼玉県 ブルーバードホーム 障害者支援施設江南愛の家 支援係長 あらい しょう 新井 渉さん
---	---

さとう よしたか
佐藤 義剛さん

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和7年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
 (ふくしの保険ホームページ)

保険金額・年間保険料 (1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	地震・噴火・津波による死傷		×	○	
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料			350円	500円	

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆年度途中でご加入される場合も左記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険 **送迎サービス補償** **福祉サービス総合補償**

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**
 (引受幹事) 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
 保険会社
 TEL: 03 (3349) 5137
 受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
 TEL: 03 (3581) 4667
 受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

(S)J24-10057 より抜粋

不登校について考える (その2)

～ 誰一人取り残されない教育を目指して～

戸田市教育委員会

戸田市では、「誰一人取り残されない教育」の実現を目指し、戸ヶ崎 勤教育長を中心として、令和4年度より国のCOCOLOプランのモデルの1つとなった戸田型オルタナティブ・プランを掲げ、不登校対策等に取り組んでいます。オルタナティブとは「新たな」「代替の」という意味があります。



※戸田型オルタナティブ・プランについてはこちらをご覧ください。→

多様な学びの場

プランの大きな柱の一つとして、こどもたちの新たな居場所となる多様な学びの場の拡充に努め、一人一人の児童生徒に合った学習環境を整えています。

(1) 戸田型校内サポートルーム

市内全小中学校に、さまざまな理由により教室に入ることには課題がある児童等が教室以外に過ごすことができる居場所を設置しています。

- ・個別ブースで自習やオンラインで学級の授業に参加
- ・1時間の授業の中でサポートルームと教室を併用しながら参加

(2) 学校外での学びの場

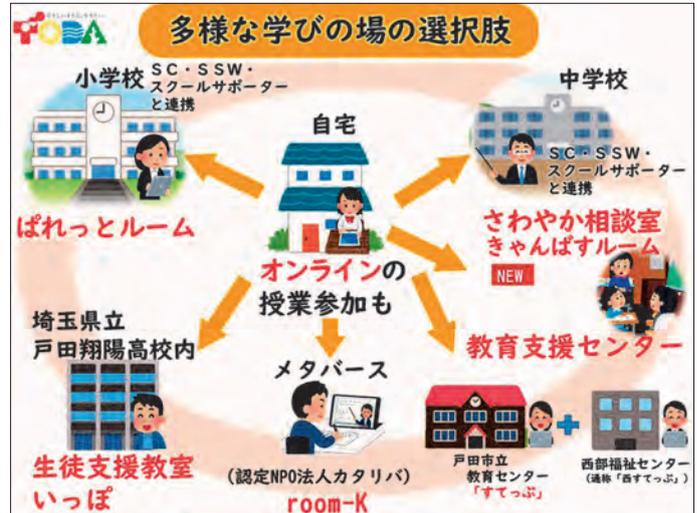
学校外の学びの場として市内2カ所に教育支援センター「すてっぷ」「西すてっぷ」を設置し、学習支援や体験活動等を行っています。また、県教育委員会と連携協定のものと、県立戸田翔陽高校内に不登校生徒支援教室「いっぽ」を設置し、市内中学校の生徒を対象に学習支援や教育相談を行っています。

- ・児童生徒が自身の状況に合わせて「すてっぷ」や「いっぽ」に参加してから学校に登校
- ・「すてっぷ」や「いっぽ」で課題や定期テストなどに取り組む

(3) オンライン教育支援センター

さまざまな理由により学校に通うことに課題がある児童生徒等を対象に、オンライン教育支援センター「room-K」を設置しています。児童生徒にはメンター、保護者には支援計画コーディネーターが伴走し、自宅等で学習支援等を受けることができます。

- ・児童生徒とメンターで週に1回学習計画等の相談をしながら自宅で参加
- ・「room-K」での支援を受けながら在籍校の授業に参加



多様な学びの場の選択肢

今後に向けて

多様な学びの場を設置することにより、長期にわたり不登校状態であった児童生徒が学びの場につながったり、学びの場を利用しながら、教室で生活したりするケースが見られるようになりました。

今後は、戸ヶ崎教育長の「学校が『義務』と『禁止』だけの場ではなく、全てのこどもたちにとって、楽しいことややりたいことがある、魅力ある学校づくりが重要である」という考えを基盤として、「誰一人取り残されない教育」の実現に向けて、努めてまいります。

(おわり)

無料カタログお送りします

介護のことなら何でもお気軽にご相談ください!

福祉用具のレンタル・販売 / 住宅改修

Silver Hoxon シルバーホクソン

通話無料 ロゴ ヨロシク

0120-65-4649 川口市中青木2-22-34

福祉の街・アールスタッフ ネットワーク

埼玉県

北部エリア: ぶくしのまち秩父, ぶくしのまち期谷, ぶくしのまち深谷, レンタル期谷

西部エリア: ぶくしのまち川越, レンタル川越, グループホーム観ヶ岡

上尾さいたまエリア: ぶくしのまち上尾, ぶくしのまち大宮, 看護小規模多機能上尾, 小規模多機能北・上尾, ぶくしのまち与野

県央エリア: ぶくしのまち浦和, レンタル浦和, ぶくしのまち東松山, デイサービス東松山

東部エリア: グループホーム大宮, 小規模多機能大宮, ぶくしのまち越谷, レンタル越谷, ぶくしのまち春日部, 看護小規模多機能春日部, ぶくしのまち久喜

アールスタッフ 本社: 春日部ケアサービス, 武蔵ヶアサービス, 上尾ヶアサービス, 北・上尾ヶアサービス, 浦和ヶアサービス, 大宮ヶアサービス, 大宮中央ヶアサービス

株式会社 福祉の街 048-645-2943

さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル4F

https://www.saint-care.com/youism



緊急支援! 「冬休みこどものごはん応援プロジェクト」 ～県産米(5kg)2,720袋・レトルト食品19,000食をこどもたちへ～

学校が長期休暇(夏休み・冬休み)に入ると、給食がなくなることで栄養不足になるこどもたちがいます。また、物価高の影響もあり米の高騰が続き、こどもの食を支えるこども食堂やフードパントリーは大きな影響を受けています。

そこで、本会ではこどもたちにおなかいっぱいご飯を食べてもらえるよう、当初予定していた無料学習支援教室へのパックご飯とレトルト食品の提供に加え、新たにこども食堂やフードパントリーに県産米を提供しました。「ご飯がとってもおいしい」「カレーをもらえてうれしい」等、こどもたちの明るい声が響きました。



こどもたちがそれぞれの居場所ですっきり受け取ることができたのは、県域ネットワークや市町村社協に協力いただいたおかげです。ありがとうございました。引き続き本会では、こどもと支援団体、市町村社協のつながりづくりを応援していきます。

各団体からの声

- ・物価高が一番影響しているのが食費です。給食を頼りにしているご家庭に食料品の支給は大変喜ばれています。(学習支援教室)
- ・ひとり親家庭の親御さんたちから、「お米をいただけるのは大変ありがたい」とのお声を多数いただきました。米が高騰しているので大変助かっているようです。(フードパントリー)

※この事業は「こども食堂・未来応援基金」を財源として実施しています。引き続きご支援をお願いいたします。



地域活動支援課 TEL 048-822-1435



社協職員が一丸となって活動中! 「埼玉縣市町村社協連絡会」

埼玉縣市町村社協連絡会では、県内の市町村社協相互の連携と協力のもと、市町村社協の組織強化や事業の充実に向けた調査研究や研修、ブロック活動などを行っています。今年度事業の一部の取り組みを紹介します。

社協PR動画公開中

住民の皆さまが地域で安心して暮らせる『福祉のまちづくり』を目指す「社協」とはどのような団体か、どのような取り組みを行っているかを皆様にご紹介するため、動画を作成し、公開しています。ぜひ一度ご覧ください。
※埼玉りそな銀行や埼玉懸信用金庫のデジタルサイネージでも放映されています。



研究集会を開催

テーマ: 「ギャルマインドが社協をアゲる ♪ ～これからの新しい社協へ～」



市町村社協の職員で構成する企画委員会では、社協職員を対象に毎年研修を実施しています。今年度は合同会社CGOドットコム azusa氏、ぷう氏を講師に招き、自己肯定感の向上や対話能力の向上を目的に『ギャルマインド』を学び、自分の好きなもの、社協で取り組みたいことなどを共有しました。相手の価値観を受入れること、自分に素直になること、対話をすることの重要性など、コミュニケーションについて理解を深めることができ、モチベーションアップにつながりました。

参加者からの声

- ・ポジティブ思考を学ぶことができた
- ・新しい自分に気づくことができた

地域連携課 TEL 048-822-1248

こども服の寄付にご協力いただける企業が増えています ～衣類バンク事業～

埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会*（愛称「あんしんポケット」）では、生活にお困りの世帯に無償でこども服をお届けする「衣類バンク事業」を実施しており、これまで1万人以上のこどもに2万8千点超の衣類を届けてきました。

本事業は個人や企業からのこども服の寄付によって成り立っており、近年は企業による社会貢献活動としての寄付が増えています。

企業からは商品リニューアルに伴う在庫品をはじめ、従業員やお客様から収集した衣類を寄付いただいています。例えば、株式会社マルエツ様が県内5店舗で、また、生活協同組合コープみらい様が県内8施設および8店舗で、お客様や組合員様からこども服の寄付を募り、収集した衣類を衣類バンク事業に提供いただきました。

今後も、必要な方にこども服をお届けするため、皆さまからの衣類（新品・未使用品同等）の寄付をお待ちしています。寄付方法については、ホームページを確認いただき、お近くの事業実施施設又は、生活支援課へお問い合わせください。ご協力をお願いします。



コープみらい店舗の活動の様子



マルエツ店舗に設置されたボックス

*埼玉県社会福祉法人社会貢献活動推進協議会

県内の社会福祉法人が協働し、生活に困窮される方の相談支援をはじめ、就労支援や衣類バンク事業などの社会貢献活動を行っています。
なお、本協議会の愛称が「あんしんポケット」となりました。

あんしんポケット 衣類バンク



生活支援課 TEL 048-822-1249

赤い羽根だより

ありがとうございますが届いています

皆さまからお寄せいただいた募金は、県内各地における福祉活動の推進や、福祉施設・団体の事業運営に役立てられています。今月号では、共同募金の助成を受けて事業を実施した団体から寄せられた感謝の声をご紹介します。皆さまのご支援が地域福祉の現場でどのように活用されているのかご覧ください。

社会福祉法人皆の郷 川越いもの子作業所（川越市） 送迎用マイクロバス購入

共同募金の助成により、送迎用のマイクロバスを購入することができました。車いすを利用される方も、これまで以上に安全でスムーズに乗り降りできるようになり、通所時の負担が軽減されています。このバスは、利用者の方々が安心して通所し、働くことを通じて社会参加を広げるとともに、余暇活動にもつながる大切な移動手段です。皆さまから寄せられたあたたかなご支援に、心より感謝申し上げます。



ぽかぽか広場・山口（所沢市） フードパントリー・こども食堂・学習支援

当団体では、ひとり親家庭を対象に、フードパントリーやこども食堂、学習支援を行っています。

物価高が続く中、食べ盛りのこどもを育てるひとり親家庭は、経済的にも精神的にも、そして体力的にも大きな負担を抱えています。助成金による食材の配付を手にしたとき、「ひとりではない」「支えてくれる人がいる」と感じられることが、日々を乗り越える大きな力になります。皆さまの尊いご寄付に、心より御礼申し上げます。



本会ホームページでもありがとうメッセージを紹介しています。
皆さまからのご寄付が、たくさんの方々の笑顔につながっています。ぜひご覧ください。



社会福祉法人埼玉県共同募金会 年間を通して助成要望を受け付けています。

〒330-0075 さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ内
TEL 048-822-4045 FAX 048-824-9819

ネット募金
受け付け中!

